

“ゆとり君”と働くために覚悟しておくこと(第1回)

こんなことまで教えなくてはならないのか！

2015.07.01

いわゆる「ゆとり教育」を受けた若者が大学を卒業し、社会人になって6年目を迎えました。彼らは様々な企業や団体で、驚くような問題を起こしています。それにもかかわらず、彼らは

「何もできないのに、自信だけはすごい」
「ちょっと怒るとすぐ落ち込んで、『会社を辞める』と言う」

企業の人事担当者からは、こんな声がたくさん聞こえてきます。この「ゆとり教育世代」(以下、ゆとり世代)をどうやって教育し、企業の戦力にしていくかに、日々頭を悩ませている方々が多いでしょう。

「でも、ゆとり教育はもう終わったんだよね？」と思った読者の方もいるかもしれません。確かに2013年度までに段階的に「ゆとり教育は見直された」と報道されていますが、実態は違います。

ゆとり教育は小学校から高校まで、授業時間を2割、授業内容を3割カットしました。今回の見直しではそのうち授業時間の約5%を元に戻しただけです。表向きは「ゆとり教育は終わった」と言いながら、大筋ではほとんど変わっていないのです。

現在大学を卒業し、社会人になっているゆとり世代は、一番長い人でも小学4年生からゆとり教育を受けた世代に過ぎません。小学1年生からたつぷりとゆとり教育に浸かった「純粋ゆとり世代」が大学を卒業し、社会人になるのはこれからなのです。

ゆとり世代の本質を知っていますか？… 続きを読む